

「令和元年度 全国婦人相談員・心理判定員研究協議会」開催報告

【報告】

- 全国の地方自治体の婦人相談員及び心理判定員が、婦人保護事業の充実を図ることを目的に、婦人相談員の相談業務、及び心理判定員の判定事務に係る問題について研究協議を行った。
- 厚生労働省より、「困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会」における検討を踏まえ、婦人保護事業について、母子生活支援施設への一時保護委託の積極的活用や児童相談所との連携強化等の見直しが行われたことが説明された。
- 婦人保護事業について、婦人相談員と児童相談所等の他機関との連携の現状に各地方自治体で違いがあるため、婦人相談員の業務のベースラインをきちんと法令に明記することが必要であり、国へも要望が必要との議論が行われた。

1. 主催：厚生労働省・奈良県
2. 日時：令和元年8月22日（木） 13：00～16：30  
令和元年8月23日（金） 9：00～12：00
3. 場所：奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～
4. 参加者：全国の婦人相談員、心理判定員 206名
5. 内容：

※婦人相談所

県内には、中央こども家庭相談センターに併設されており、一時保護所も兼ねている。

月日	内容	説明者
8/22	(1) 行政説明	厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援室 女性保護専門官 阿部 浩志
	(2) 基調講演1 「若年女性への支援」	立教大学コミュニティ福祉学部 教授 湯澤 直美
	(3) 基調講演2 「DVと児童虐待への対応～心理ケアの必要性～」	立命館大学大学院人間科学研究科 教授 村本 邦子
8/23	(4) 分科会	
	第1分科会 「婦人保護事業の歴史」	島根県女性相談センター西部分室 女性相談員 竹下 和子 (前全国婦人相談員連絡協議会会長)
	第2分科会 「安心安全のための住基支援措置」	堺市中区役所市民課 事務職員 上田 慶司
	第3分科会 「リプロダクティブヘルス/ライツ」～妊娠や性暴力被害者に対する緊急支援～	性暴力救援センター・大阪 SACHIC 代表 阪南中央病院産婦人科 医師 加藤 治子
	第4分科会 「婦人相談員の専門性と関係機関との連携等」	立教大学コミュニティ福祉学部 教授 湯澤 直美
心理分科会 「トラウマを抱えた親子への支援～PCITとCAREの実践」	東京都児童相談センター 医長 小平 かやの	
(5) 全体会	各分科会における討議結果の報告及び質疑応答	



(8月22日基調講演の様子)



(8月23日分科会の様子)